

夏休みボランティア体験 プログラムを実施しました！

R8.8.1～8.31

安城市ボラン
ティアセンター

市内の高齢者、児童、障害者施設など50施設・団体のご協力により「ボランティア体験プログラム」を実施しました。ボランティア活動には、施設利用者様のお話を聴くことやレクリエーションのお手伝い、子どもたちと一緒に遊ぶことなどさまざまな活動があります。

今年は中学生から一般の方まで155人もの参加がありました。参加者は自分の関心がある分野や気になる施設を選び、事前説明会で説明や注意事項を受けたあと、それぞれの場所で活動に取り組みました。

(次ページには参加者のみなさんから寄せられた感想の一部を掲載しております。)



事前説明会にてボランティア活動の心構えについて勉強！



高齢者施設で特技の中国ゴマを披露！！



高齢者施設でレクリエーションのお手伝い！



児童センターで読み聞かせに挑戦！

～参加者からの感想～

●高校生 Sさん（体験施設：アンフォーレほっとスペース）

最初は緊張して自分から行動することができなかったのですが、自分から行動できるようになると、やりがいを感じ、より誰かのために行動したいという気持ちが増えました。とても温かい方々が沢山いて、このボランティアを通して人との繋がりを増やし大切にできる場だと感じました。また、参加したいです。

●専門学生 Kさん（体験施設：放課後等デイサービスNEEKH～ネーフ～）

皆さんとても親切に教えていただき、非常に良い経験ができました。ボランティアを通して実際に子供達と接し、特に子供達への声かけの仕方や、特性に合わせた対応などを教えていただいたことで身をもって学ぶことができました。ありがとうございました。

●中学生 Yさん（体験施設：特別養護老人ホームひがしばた）

2日間の活動を通して、最初は慣れない環境だったこともあり少し緊張していて、自分から積極的に声をかけたり行動したりすることができない場面もありましたが、時間がたつにつれて少しずつ慣れ、相手の様子を見ながら自分にできることを考えて行動できるようになりました。

また、活動中は周りの人と協力することや、相手の気持ちを考えて接することの大切さを学びました。自分では普通だと思っていた行動でも、相手にとっては嬉しいことになることがあり、人と関わる時には相手の立場になって考えることが大切だと感じました。

一方で、まだ自分から積極的に動けなかったり、次に何をすればいいのか迷ってしまったりすることもあったので、そこはこれからの反省点として直していきたいです。

2日間を通して普段の学校生活ではできない貴重な経験をすることができ、いろいろな人と関わる中で多くのことを学ぶことができました。最後に感謝の言葉をもらえたときはとても嬉しく、最初は緊張していたけれど最後まで頑張ってよかったと思いました。この2日間で学んだことを忘れず、これからは周りをよく見て、自分から考えて行動できるようにしていきたいです。

ボランティアセンターより

今回の活動にご協力いただいた各施設の皆さま、参加校の先生方、そして参加してくれた生徒・学生の皆さんに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ボランティアセンターでは、夏休み期間だけでなく、ボランティアをしたい人・してほしい人のご相談を受け付けています。

ぜひお気軽にご相談・お立ち寄りください！

